

## 長久手市多文化共生推進事業進捗一覧

## 基本目標 1 地域での日本語教育の体制づくり

項目	内容	R 4 アクションプラン内容	R 4 事業実績と課題		R 5 事業予定		取組主体
日本語学習が継続できる環境づくり	定期的かつ長期的に日本語教室が開催できる会場を確保します。	日本語教育の体制づくりを市事業と位置づけ、会場を確保	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語教室を市から国際交流協会への委託事業として実施した。</li> <li>&lt;にほんごで話そう！ながくてクラス（木曜日）&gt; 日時：令和4年4月7日～令和5年3月9日 毎週木曜日 午前10時～11時30分 場所：西小校区共生ステーション</li> <li>&lt;ウェルカムにほんご教室（土曜日）&gt; 日時：令和4年4月9日～令和5年3月11日 毎週土曜日 午前10時～11時30分 場所：文化の家</li> </ul>	内容	・日本語教室を市委託事業として実施する。	市
			課題	・参加者が増加する一方で、定員数が大きい公共施設の貸部屋が少ない。	対応	・実施方法（参加者数、場所、曜日等）の検討	
	継続的に外国人市民が学習できるように、教室の開催日や時間帯などニーズを把握し、対応します。	多文化共生に関するアンケート調査結果及び学習者へのアンケートからニーズ把握	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>リニモテラス公益施設で、外国人から要望のあった時間帯で試験的に実施した。</li> <li>&lt;オープン日本語教室&gt; 令和4年7月30日～10月8日 毎週土曜日 午後6時30分～8時 令和4年11月23日～令和5年1月18日 毎週水曜日 午後6時30分～8時 令和5年1月20日～ 毎週金曜日 午前10時～11時30分 令和5年1月25日～ 毎週水曜日 午前10時～11時30分 令和5年1月27日～ 毎週金曜日 午後4時30分～6時</li> </ul>	内容	・リニモテラス公益施設におけるオープン日本語教室の定期開催。	市 国際交流協会
			課題	・学習者1人に対してボランティア2人で対応するため、学習者の希望する時間に活動できるボランティアが不足している。	対応	・オープン日本語教室のボランティア募集を実施。	
日本語教育に関する研修の実施	地域の日本語教育について学ぶ研修を愛知県立大学と合同で実施し、支援者のスキルアップを行います。	日本語教室ボランティア向けにスキルアップ研修を実施	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語ボランティアを初めて行う人や学び直しを行いたい人に向けて「日本語ボランティア入門講座」を開催した。</li> <li>日時：令和4年8月6日（土）、13日（土）、27日（土） 午後2時～5時 共催：長久手市国際交流協会、愛知県国際交流協会、長久手市 場所：福祉の家 集会室 参加者：37人 講師：鈴木崇夫（愛知淑徳大学助教）、伊東浄江（NPO法人トルシーダ理事長）</li> </ul>	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各日本語教室で課題となっていることを洗い出し、ニーズのある内容で研修を実施する。</li> <li>研修参加者がスムーズに日本語教室のボランティアに継続して参加してもらうための仕組みを検討。</li> </ul>	市 国際交流協会
	新たな支援者の発掘や育成に向けた講座などを実施し、支援者を増やす取組を行います。	潜在ボランティアを掘り起こす研修を実施	課題	・研修時に参加者から教室活動でのマイナスな部分がピックアップされてしまい、研修を受講した人で日本語教室のボランティアに参加した人数が少なかった。	対応	・ボランティア入門者と経験者の内容を分けて実施する。	
子ども向け日本語教室の開催	地域のニーズを把握し、子ども向けの日本語教室を検討し、開催します。	国際交流協会で実施し、ニーズ把握や問題点を検証	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもも参加できる教室「こどもにほんご」を市から国際交流協会への委託事業として実施した。</li> <li>日時：令和4年4月3日～令和5年3月5日 月3回日曜日 午前10時～11時30分 場所：西小校区共生ステーション他</li> </ul>	内容	・日本語教室を市委託事業として実施する。	市 国際交流協会
			課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加人数が増加しているが、定員数が大きい公共施設の貸部屋が少ない。</li> <li>現在使用している会場が公用申請での優先予約ができない施設であるため、施設予約するボランティアの負担が重荷になっている。</li> </ul>	対応	・実施方法（参加者数、場所、曜日等）の検討	

基本目標 2 外国人児童生徒への日本語および学習支援

項目	内容	R 4 アクションプラン内容	R 4 事業実績と課題		R 5 事業予定	取組主体	
外国人の子どもの就学促進	外国人の子どもが就学する際に、学校についての情報提供や就学に向けた支援が行えるよう、行政機関での情報共有および愛知県国際交流協会をはじめとする関係機関との連携を図ります。	市、教育委員会、国際交流協会が連携し、日本語教室に通う子どもと保護者に対して就学に必要な情報提供を実施	実績	<p>「こどもにほんご」において、子どもが学校での学びにつながることを意識したテーマの活動を取り入れている。</p> <p>・学校や進学について、随時、外国人保護者へ日本人の子育て経験者からアドバイスをもらったり、相談先の情報提供を行った。</p>	内容	<p>・学校入学時に必要な物品や書類などを教育委員会、国際交流協会と共有する。</p>	市 教育委員会 国際交流協会
			課題	—	対応	—	
学校での日本語教育と学習支援	日本語指導が必要な外国人児童生徒に対応するため、市担当課、国際交流協会、市教育委員会との連携を図ります。	活動報告を学期ごとに実施し、情報共有と課題を整理	実績	<p>・市、教育委員会、国際交流協会外国人児童生徒に関する報告会を行い、支援内容や子どもの状況や課題を情報共有した。 日時：令和5年2月9日（火） 午後2時～3時30分 場所：長久手市役所打ち合わせ室 1</p> <p>・外国人児童生徒に対するサポートがスムーズに行えるように、随時、市、教育委員会、国際交流協会にて情報共有を行った。</p>	内容	<p>・定期的に支援する子どもに関する情報共有の場を設ける。</p>	市 教育委員会 国際交流協会
			課題	<p>・サポートする外国人児童生徒が学校を欠席した等でサポーター派遣が不要な時に、学校からサポーターへの連絡が取れていないことが発生している。</p>	対応	<p>・令和5年度から委託事業となることが予定されているため、委託事項にサポーターから学校への連絡確認を盛り込む。</p>	
	日本語の初期指導内容について検討します。	教育委員会で外国人児童生徒受入れマニュアルを作成	実績	<p>・日本語指導が必要な児童生徒の在籍校で、該当児童生徒の状況に応じた特別の教育課程を編成し、その教育課程のもと、実施計画を作成・指導している。</p> <p>・国際交流協会が学校日本語学習サポーター派遣要綱を作成し、校長会で周知した。</p> <p>・先進地事例視察として、みよし市及び大府市へヒアリングを行い、初期指導教室等外国人児童生徒への支援について情報収集した。</p>	内容	<p>・サポーターと学校の先生が、外国人児童生徒に対する支援の情報共有やスキルアップを図る研修を実施する。</p>	市 教育委員会
			課題	<p>・学校側において日本語指導が必要な児童生徒に対する指導の仕方のスキルが確立していない。</p> <p>・サポートが必要な外国人児童生徒が増加しているため、市として現状で行える仕組みの検討が必要。</p>	対応	<p>・学校同士で外国人児童生徒への対応方法や使用教材を情報共有する。</p>	
外国人児童生徒に対する学習支援者の養成	学校での学習支援や日本語教育に対応する学習支援者の養成を行います。	市、教育委員会が連携し、学習支援者派遣の制度化	実績	<p>日本語学習サポーター派遣事業に協力している市国際交流協会ボランティアを対象に、スキルアップを図る研修を実施する。 日時：令和5年3月（予定） 主催：長久手市国際交流協会</p>	内容	<p>・新たなサポーターの発掘及びスキルアップ研修を実施する。</p>	市 教育委員会 国際交流協会
			課題	<p>・外国人児童生徒増加により、サポーター数の不足が予測されている。</p>	対応	<p>・学校での日本語指導員経験者、教員経験者、子ども対象の日本語教室ボランティア経験者に声をかけていく。</p>	

基本目標3 日本語学習内容の充実

項目	内容	R4 アクションプラン内容	R4 事業実績と課題		R5 事業予定	取組主体	
生活の場面で使用する日本語の学習支援	銀行、病院、郵便局など生活の場面で使用する日本語の表現や単語について、学習内容に組み込みます。	日本語教室学習者へのヒアリングや先進地等の事例を参考に、年間カリキュラム作成、実施	実績	<p>・市安心安全課、尾三消防本部、市内大学、長久手市社会福祉協議会、防災ボランティア団体が連携し、「防災フェス」を開催した。防災の入門編として、地震の対処法やAED体験、煙体験、炊き出しなどを行った。当日は外国人をサポートするボランティアや市内大学生が参加し、わかりやすくやさしい日本語で伝え、防災に対する理解を深めた。 日時：令和4年11月19日（土） 午前10時～午後1時 場所：リニモテラス公益施設及び長久手中央2号公園 参加者：150人（うち外国人20人）</p> <p>・愛知県立大学と連携し、学生がテーマに沿って考えた指導プログラムのもとに、学習者に役立つ情報を効率的に提供、共有するかを学んだ。 日時：令和4年8月6日（土） 午前10時～11時30分 場所：愛知県立大学 参加者：日本語教室ボランティア20人、愛知県立大学生10人</p> <p>・愛知県警の警察官が、愛知県警が作成した交通事故時の対応や犯罪に巻き込まれない心構えをやさしい日本語で伝える外国人向け冊子「みんなが安全に安心して暮らすために」を使い、日本語教室学習者やボランティア、愛知県立大学留学生がとともに学びながら、冊子の理解のしやすさを確認するワークショップを開催した。 「やさしい日本語で安全講話」 日時：令和4年5月22日（日） 午前10時～11時30分 場所：長久手中央図書館 参加者：26人</p>	内容	<p>・生活場面での日本語を学ぶため、防災をテーマにしたイベントを開催。</p>	市 国際交流協会
「読み・書き」能力の向上支援	日本語教室において「読み・書き」を中心とした読解やアウトプット形式の学習を行います。	愛知県国際交流協会や先進事例を持つ日本語教室へヒアリングし、学習方法を検討	実績	<p>・木曜日日本語教室で、LINEを活用した300字程度の文章添削を実施した。 ・こども新聞を活用して、読み取り授業を実施した。</p>	内容	<p>・愛知県国際交流協会や先進事例を持つ日本語教室へヒアリングし、学習方法を検討する。</p>	市 国際交流協会
さまざまな学習方法の情報提供	外国人市民が個人での日本語学習に活用可能な教材（アプリや教科書など）について情報を提供します。	日本語教室で教材を試験的に導入し、評価を取りまとめ	実績	<p>・市国際交流協会ホームページで、個人で学習できる日本語学習サイトをまとめて掲載した。</p>	内容	<p>・市及び協会ホームページで日本語学習教材を情報提供</p>	市 国際交流協会
			課題	<p>・年間カリキュラムの作成には至っていない。</p>	対応	<p>・生活場面での日本語学習について、各日本語教室での学習状況の把握と、先進地事例を情報収集する。</p>	
			課題	<p>・個人での日本語学習に活用可能な教材の導入、評価ができていない。</p>	対応	<p>・日本語教室学習者に対して、日本語学習の現状を把握する。</p>	

基本目標4 外国人市民への日常生活サポート

項目	内容	R4 アクションプラン内容	R4 事業実績と課題	R5 事業予定	取組主体
やさしい日本語・多言語での情報提供	ホームページの多言語化など、日本語能力が十分でない外国人市民に対して、生活に必要な情報を提供するための施策に取り組みます。	庁内ニーズ調査	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内で外国人への対応する機会が多い課を集め、現状の課題等について情報共有を行った。また、会議に参加した職員から要望のあったやさしい日本語の実践研修を行い、外国人対応のスキルアップを図った。</li> <li>&lt;第1回長久手市多文化共生推進連絡会議&gt; 日時：12月13日（火） 午前10時～11時45分 場所：長久手市役所会議室棟H 参加者：市民課、子ども未来課、子ども家庭課、健康推進課、たつせがある課、国際交流協会 計12人 内容：①各課との情報共有 ②研修「外国人対応のコツ、気をつけること」 (講師：犬山市多文化共生推進員 大島ヴィルジニア・ユミ氏) 外国人対応時における職員の心構えや対応のポイントを学んだ。</li> <li>&lt;第2回長久手市多文化共生推進連絡会議&gt; 日時：3月14日（火） 午前10時～11時30分 場所：長久手市役所会議室棟H 参加者：市民課、子ども未来課、子ども家庭課、健康推進課、たつせがある課、国際交流協会 計11人 内容：①各課との情報共有 ②研修「やさしい日本語を使ってみよう！」 (講師：長久手市国際交流協会事務局職員 伊藤雅絵氏) やさしい日本語へ変換するポイントを学び、実際に体験して、スキルアップを図った。</li> <li>・国際交流協会と愛知県立芸術大学が連携し、外国人が知りたい情報を盛り込んだ外国人向けマップを作成。(3月完成予定)</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語での情報発信が進んでいない。</li> <li>・職員の外国人対応経験が少なく、やさしい日本語や翻訳機の使用頻度が少ないため、使い方に慣れていない。</li> </ul>	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内での情報共有や情報発信のニーズの洗い出しの場として、引き続き連絡会議を実施する。</li> </ul> <p>対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人に伝えるためのツールの使い方を実践的に学ぶ研修を実施。</li> </ul>	市 国際交流協会
生活相談体制の確保	転入時、生活に必要な情報を外国人市民に提供できるように市担当課と国際交流協会連携を図ります。	市が、ニーズ高い情報をやさしい日本語で作成	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスに関する情報は、ワクチン接種の情報に加え、副反応についてもやさしい日本語で発信した。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やさしい日本語での情報発信が少ない。</li> </ul>	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語での情報を市、国際交流協会が連携して作成</li> </ul> <p>対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人からニーズのあった出産、子育て、教育について、やさしい日本語での情報発信を行う。</li> </ul>	市 国際交流協会
	リモテラス公益施設をはじめとする公共施設において、外国人市民に対する情報発信や日常生活サポートの実施に向けて取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流協会がよくある相談や外国人からの要望を取りまとめ、Q &amp; Aを作成</li> <li>・国際交流協会と市で情報共有</li> </ul>	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流協会が外国人が気軽に集える場づくりとして「NIA集いの広場」を実施した。 日時：令和4年4月2日～令和5年3月25日（予定） 毎週土曜日 午前10時～12時 参加者：1,335人（うち外国人130人）（R5.3.6時点）</li> <li>・災害時等において外国人に効率的な情報提供を行うため、外国人コミュニティについてヒアリング調査を実施した。 国籍：スペイン、中国、ネパール、スリランカ 内容：情報収集の方法、同国人グループの有無等</li> <li>【再掲】</li> <li>・市安心安全課、尾三消防本部、市内大学、長久手市社会福祉協議会、防災ボランティア団体が連携し、「防災フェス」を開催した。防災の入門編として、地震の対処法やAED体験、煙体験、炊き出しなどを行った。当日は外国人をサポートするボランティアや市内大学生が参加し、わかりやすくやさしい日本語で伝え、防災に対する理解を深めた。 日時：11月19日（土） 午前10時～午後1時 場所：リモテラス公益施設及び長久手中央2号公園 参加者：150人（うち外国人20人）</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流協会は外国人から相談があった際は、随時、市と情報共有し、担当課につないでいるが、Q &amp; Aの作成には行っていない。</li> </ul>	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人に効率的な情報提供を行うため、引き続き、外国人コミュニティについて調査を実施する。</li> </ul> <p>対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市で相談内容別に担当課一覧を作成し、国際交流協会と共有する。</li> </ul>	市 国際交流協会

<p>関係機関との連携</p>	<p>問題解決に向けて迅速な対応ができるように、愛知県国際交流協会や出入国管理局といった各種関係機関と連携を図ります。</p>	<p>・多文化共生推進会議で意見収集          ・市関係各課が連絡会議を実施          ・市、国際交流協会が市社会福祉協議会と情報共有を実施</p>	<p><b>【再掲】</b>          ・庁内で外国人への対応する機会が多い課を集め、現状の課題等について情報共有を行った。また、会議に参加した職員から要望のあったやさしい日本語の実践研修を行い、外国人対応のスキルアップを図った。          &lt;第1回長久手市多文化共生推進連絡会議&gt;          日時：12月13日（火） 午前10時～11時45分          場所：長久手市役所会議室棟H          参加者：市民課、子ども未来課、子ども家庭課、健康推進課、たつせがある課、国際交流協会 計12人          内容：①各課との情報共有                  ②研修「外国人対応のコツ、気をつけること」                  （講師：犬山市多文化共生推進員 大島ヴィルジニア・ユミ氏）                  外国人対応時における職員の心構えや対応のポイントを学んだ。</p> <p>&lt;第2回長久手市多文化共生推進連絡会議&gt;          日時：3月14日（火） 午前10時～11時30分          場所：長久手市役所会議室棟H          参加者：市民課、子ども未来課、子ども家庭課、健康推進課、たつせがある課、国際交流協会 計11人          内容：①各課との情報共有                  ②研修「やさしい日本語を使ってみよう！」（講師：長久手市国際交流協会事務局職員 伊藤雅絵氏）                  やさしい日本語へ変換するポイントを学び、実際に体験して、スキルアップを図った。</p> <p>・市安心安全課、尾三消防本部、市内大学、長久手市社会福祉協議会、防災ボランティア団体が連携し、「防災フェス」を開催した。防災の入門編として、地震の対処法やAED体験、煙体験、炊き出しなどを行った。当日は外国人をサポートするボランティアや市内大学生が参加し、わかりやすくやさしい日本語で伝え、防災に対する理解を深めた。          日時：11月19日（土） 午前10時～午後1時          場所：リニモテラス公益施設及び長久手中央2号公園          参加者：150人（うち外国人20人）</p> <p>・愛知県立大学と連携し、学生がテーマに沿って考えた指導プログラムのもとに、学習者に役立つ情報を効率的に提供、共有するかを学んだ。          日時：8月6日（土） 午前10時～11時30分          場所：愛知県立大学          参加者：日本語教室ボランティア20人、県大生10人</p> <p>・国際交流協会、愛知県警、愛知署が連携し、災害や事故など緊急時の行動マニュアルを外国人向けにやさしい日本語版で作成した。また、日本語教室学習者に対してマニュアルを活用したグループワークを行い、緊急時の行動について理解促進を図った。          日時：令和4年5月22日（日） 午前10時～11時30分          場所：長久手中央図書館          参加者：24人</p>	<p>内容</p> <p>・引き続き、多文化共生推進会議や連絡会議を実施し、課題の共有や他市町の事例等の情報収集を行う。          ・各種イベントを関係機関と連携して実施する。</p>	<p>市 国際交流協会</p>
			<p>課 題</p> <p>—</p>	<p>対 応</p> <p>—</p>	

基本目標5 多文化理解と多文化交流の促進

項目	内容	R4 アクションプラン内容	R4 事業実績と課題		R5 事業予定	取組主体
多文化理解講座・語学講座の開催	日本人市民が外国の文化や習慣を学べる多文化理解講座や、外国人の講師を招いた語学講座を開催します。	外国人の国際交流協会員を講師とした講座の開催	実績	<p>・リモテラス公益施設での「NIAつどいの広場」や国際交流フェスタにおいて、日本語学習者や留学生が母国のことや言語を伝える講座「KO・TO・NO・HA Café」を開催した。</p> <p>&lt;中国語&gt; 日時：令和4年9日、16日、6月4日、7月16日、9月3日、10月1日、12月3日、24日、3月11日 スピーカー：里燕美(さと えみ)、劉泓巍 (りゅう おうぎ)</p> <p>&lt;韓国語&gt; 日時：5月28日、8月27日、11月26日 スピーカー：李鴻柱 (い こうちゅう)</p> <p>&lt;スペイン語&gt; 日時：7月9日 スピーカー：カルティルス・マルソル・アレイス</p> <p>&lt;国際交流フェスタ&gt; りゅうさんの中国語講座 3月5日(日) 午後2時～2時30分 劉泓巍 (りゅう おうぎ)</p>	内容	国際交流協会
国際交流イベントの開催	日本人市民と外国人市民がともに主体となって運営し、交流の場を創出する国際交流イベントを開催します。	外国人の国際交流協会員が主体となるイベントの企画、運営	課題	<p>・外国人、日本人が自分の国や好きなことについて母語以外の言葉で伝える「くーてトーク」を国際交流フェスタの中で開催した。</p> <p>日時：3月4日(土) 午後1時～4時 場所：文化の家風のホール 出場者：18組(うち外国人10組)</p> <p>・姉妹都市30周年記念イベントの中で、スペイン人留学生がナポレオンに扮してトークショーを開催した。</p> <p>日時：10月29日(土) 午後1時50分、3時30分 各10分 場所：長久手中央2号公園ステージ</p> <p>・外国人コミュニティ調査のため、ベトナム食材店のオーナーと協力し、「在住外国人のためのきものフォトコンテスト」を開催した。</p> <p>イベント終了後、参加者にコミュニティについてヒアリングを実施した。</p> <p>日時：10月22日(土) 午前10時～午後0時 場所：リモテラス公益施設 参加者：9人 共催：長久手市国際交流協会、愛知県立大学大学院自主研究グループ</p>	対応	国際交流協会
			内容		<p>・外国人の国際交流協会員が主体となるイベントの企画、運営</p>	国際交流協会
			対応	<p>・イベントでブース出展や講座を行う外国人はいるが、運営側に加わる人が少ない。</p>	<p>・企画段階から外国人市民を巻き込み、外国人が参加しやすい内容や時間帯での開催を検討する。</p>	